

各部会報告資料

- ・くらし部会(P1～2)
- ・就労部会(P3)
- ・相談支援部会(P4～5)
- ・精神障がい者地域移行支援部会(P6～9)

※子ども部会資料は当日配布いたします。

平成 25 年 8 月 23 日

熊本市障がい者自立支援協議会

くらし部会

【これまでの経過と今後の予定】

1. 当事者交流会企画検討
詳細の企画については、別紙参照。

広報について：自立支援協議会に関係する機関、事業所へチラシとポスターを配布

予算について：印刷については、事務局及びくらし部会事業所等が協力。お茶などについては、くまもと地域相談支援懇話会へ協賛金を依頼する。

【今後の予定】

- 8月
 - ・各セッションの配置図、当日必要スタッフ数の確認
 - ・タイムスケジュールの作成（全体的流れは広報グループで作成し、詳細は各部門で作成）
 - ・本会議にて、ポスターとチラシについて提示
- 9月
 - ・広報、申し込み受付の開始。
 - ・参加可能スタッフ数の確定
 - ・スタッフマニュアルの作成
- 10月
 - ・参加者名簿の作成
 - ・くらし部会全体での確認
- 11月
 - ・各部門最終チェックと当日スタッフの打ち合わせ
 - ・交流会の実施

2. グループホーム・ケアホームの情報確認

新規事業所への情報提供依頼の割り振りを終了。8月を締め切りとして、担当事業所が依頼をしていく予定。これまでリストにあるグループホーム・ケアホームについては、今までの担当で内容等に変更がないか確認を行う。

○新規事業所担当

- ・グループホームさんふうか水前寺…いんくる
- ・サポートセンター河内…コロニー
- ・ケアホームすまいる…社会福祉事業団
- ・レガメ藤崎宮…やまびこ
- ・グループホームしんせい…きぼう
- ・グループホームきずな…ぎんなん

3. 事例検討について

7月よりスタート。平成24年度の困難事例について、各専門分野を中心としたグループ構成で実施していくことを確認。8月より検討開始。

当事者交流会計画（案）

<目 的>

くらし部会で様々なケースを検討する中で、生活の中での交流の場を持てなかったり、仕事が休みの日の時間の過ごし方が上手くできない状況があること、友達作りをしたい、出会う場がほしいという当事者の方の声があることを確認することができた。

また、自立支援協議会の中で、当事者の方の声を聴く機会がなかった現状もあった。このような状況から、今回の当事者交流会は、しょうがいを持つ方の集える時間と場の提供を行うと共に、当事者の方々から生活の中での困りごとや、やりたいことなど生の声を聞かせて頂く機会とする。

<テーマ>

「たのしく、つながる、ひろがる」～当事者交流会～

主催：熊本市自立支援協議会くらし部会

協賛：くまもと地域相談支援懇話会（予定）

<日 時>

11月30日（土） 13:30～16:00

<場 所>

ウエルパル大会議室、101 会議室（予備室：不安定になった場合の一時休憩室）

<対象者>

障がい当事者（自立支援協議会に関係する事業所の利用者）

*今回に限り、交流会が初めての取り組みであること、どの事業所とも繋がりのない参加者では情報が乏しく対応が困難な場合があることを考慮し、関係機関を通してのみの申し込みとする。

<定 員> 50名

<内 容>

13:00～ 開場・受付

13:30～

○オリエンテーショングループ→男女グループ別活動

- ① 自己紹介レクレーションの説明
- ② 自己紹介レクレーションの開始
- ③ オリエンテーション

参加者の緊張緩和や交流会に興味を持って楽しく参加してもらおう雰囲気を作ることを目的

○レクレーショングループ→全体活動

- ① 準備運動
- ② じゃんけんゲーム

○茶話会グループ→男女混合グループ別活動

- ① テーマ「あかるく たのしく」
- ② フリートーク 5名×10グループ

16:00～17:00 交流会反省会

平成25年度 第回熊本市障がい者自立支援協議会 就労部会報告

これまでの活動内容について

今年度は「ガイド・PR班」、「研修班」、「福祉計画班」の3班に分かれ、各班で年間目標と具体的な実施計画を検討し、第3回目の部会より作業をスタートしています（約50名）。

また、昨年度に引き続き、各班のリーダー、サブリーダーと事務局で運営委員会を設営し、部会がスムーズに進行するよう、就労部会とは別の日時に話し合いの場を設け進捗状況の報告や今後の進め方等についての検討を行っています（約20名）。

【各作業班の目標・計画】

- 研修班**
- ①参加者の就労支援のスキルアップを目的とした内部研修を毎月開催
 - ・6月「労働法・就労の助成制度について（ハローワーク熊本より）」
 - ・7月「熊本市発達障がい者支援センターみなわの取り組みについて」
 - ・8月「私立高校の就労支援の取り組みについて（私学特別支援員より）」
 - ②当事者・ご家族・支援者・企業にむけての外部研修を開催予定（年1回）
 - ・今年度のテーマは「発達障がいのある方の就労支援について」を検討中

- ガイド班**
- ①昨年度作成したガイド集の更新、バージョンアップ
 - ・新規開設された事業所の掲載とホームページの更新
 - ・昨年度のアンケート調査を参考に内容を改良
 - ②情報発信集「しごといく」の第2弾を作成
 - ・障がいがある方の就労支援に携わる人、雇用の場の拡大(企業開拓など)に活用できる内容を掲載する

- 福祉計画班**
- ①就労継続支援A型・B型事業所へのアンケート調査の継続
 - ・福祉サービスの質の向上や商品開発の参考となる内容を記載予定

今後の計画について

班ごとに目標の達成に向けて作業を進めるとともに、就労部会全体で主催研修会の開催に向けての準備をすすめていく

課題事項

ガイド集や「しごといく」発刊にあたっての予算をどのように確保するかを検討中

平成 25 年度 第 2 回熊本市障がい者自立支援協議会 相談支援部会報告

相談支援部会は平成 25 年 6 月より新たな部会として開始。
主たるメンバーは熊本市の相談支援事業所（相談支援専門員）と行政職員。
2 ヶ月に 1 回開催を予定していたが、新規事業所等の要望により当面は毎月行う。

相談支援部会の目標

- ・相談支援専門員の質の向上
- ・熊本市における相談支援体制の強化
- ・相談支援事業所の情報の共有
- ・効率的な計画相談の対応に向けた基盤作り

年間計画

※別紙添付

具体的な取り組み

○部会の流れ

- 前半：全体会で各専門機関からの説明・研修会を 2～3 ヶ月に 1 回程度実施。
計画相談の対応に向けた基盤作り など
- 後半：グループワークで意見交換、情報の共有を図る。困難事例の対応など。

第 1・2 回 部会報告

第 1 回（6 月）

- ・「特別支援学校卒業生の就労継続 B 型利用に係る取扱いについて」
熊本市障がい保健福祉課より説明・質疑応答
- ・グループワーク
テーマ：計画相談者の受入れ困難時の対応について
- ・相談支援事業所の情報交換、情報共有

第 2 回（7 月）

- ・「サービス等利用計画作成のチェック表作成」
- ・グループワーク テーマ：現在の困りことなど

平成25年度「相談支援部会」年間計画(案)

【相談支援部会目標】

- ・相談支援専門員の質の向上
- ・熊本市における相談支援体制の強化
- ・相談支援事業所の情報の共有
- ・効率的な計画相談の対応に向けた基盤作り

月	前半	後半
4月		
5月		
6月		
7月	【サービス利用計画作成のチェック表作り】 ※(東・西)(南)(北)(中央)のグループに分かれる	【グループワーク(Q&A作り、意見交換)】 ※グループに関してはその都度設定
8月	↓	↓
9月		
10月	【未定】 セルフプランについて？	
11月	↓	↓
12月		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 途中、市役所担当課とも相談し、必要時は研修や説明会等の設定も検討。 </div>
1月	↓	↓
2月		
3月	↓	↓

精神障がい者地域移行支援部会(障がい者自立生活体制検討会)について

背景

厚生労働省精神保健福祉対策本部は、平成16年9月に取りまとめた精神保健福祉改革ビジョンの中で「入院医療中心から地域生活中心へ」という基本方針を出し、受入条件が整えば退院可能な障がい者について、精神病床の機能分化や地域支援体制の強化を進めることとした。

これを受け、熊本市では、精神障がい者の地域における生活を支援し、社会参加と自立を促進するために必要なサービスを総合的に提供していく体制を整備することを目的として、平成17年度から事業を開始することとした。

事業経過

平成17年度から、関係機関による「障がい者自立生活体制検討会」を開催し、ニーズ調査や普及啓発のための研修会、社会資源のホームページ作成等を行った。

平成20年度からの4年間は、熊本県の委託を受けて精神障害者地域移行支援特別対策事業に係る地域移行支援会議を設置し(年3回開催)、地域移行推進員による個別支援について協議・検討を行った。

平成24年度からは、政令市移行に伴い4つの事業(①地域体制整備コーディネーター配置事業、②高齢入院患者地域支援事業、③ピアサポート活用事業、④地域移行支援協議会)を実施し、併せて自立生活体制検討会も引き続き月1回開催している。

「障がい者自立生活体制検討会」の参加機関

地域活動支援センター I 型(8ヶ所)、精神科病院(18ヶ所)

各区役所保健子ども課及び福祉課、こころの健康センター、精神保健福祉室

「障がい者自立生活体制検討会」での検討内容等の実績

年度	検討内容	地域移行個別支援実績
17	ワーキング部会(7回) 退院可能者ニーズ調査実施、ケアマネジメント実施 就労支援講演会(関係職員対象)	対象者:8名、退院者:4名
18	体制検討会(5回)、社会資源ホームページ作成 普及啓発研修会「統合失調症の理解と対応について」(民生委員対象)	対象者:9名(新規5、継続4)、退院者:4名
19	体制検討会(5回)、不動産業者との意見交換会(居住支援について) 普及啓発研修会「疾患の理解と対応について」(ヘルパー・ボランティア対象)	対象者:6名(新規2、継続4)、退院者:2名
20	体制検討会(11回) 普及啓発研修会「疾患の理解と対応について(統合失調症と人格障害)」 (保護課・保健福祉センター職員対象)	対象者:18名(新規18)、退院者:10名 ※地域移行推進員5名配置(県事業)
21	体制検討会(11回) 普及啓発研修会「WRAPについて」(体制検討会参加者対象)	対象者:15名(新規12、継続3)、退院者:7名 ※地域移行推進員3名配置(県事業)
22	体制検討会(11回) 普及啓発研修会「WRAP研修会・集中クラス」(当事者・関係職員対象)	対象者:9名(新規7、継続2)、退院者:2名 ※地域移行推進員4名配置(県事業)
23	体制検討会(11回) 普及啓発研修会「WRAP研修会・集中クラス」(当事者・関係職員対象)	対象者:6名(新規5、継続1)、退院者:6名 ※地域移行推進員2名配置(県事業)
24	体制検討会(11回) グループワーク (事例集作成、ピアサポート活用、サービスの情報整理、普及啓発) 普及啓発研修会「高齢精神障がい者の地域生活支援について」 (介護支援 専門員・介護福祉士・関係職員等対象)	対象者:9名、退院者:3名 ※地域体制整備コーディネーター3名配置等

※平成20～23年度の地域移行個別支援実績は、熊本県精神障害者地域移行特別対策事業の対象者を含む。

平成25年度 精神障がい者地域移行支援部会(障がい者自立生活体制検討会)の活動について

〈全体検討〉

- 参加者全員への事業説明・研修・意見交換等の実施
- 事例検討・実践検討の実施

事例集(平成24年度作成)の事例や、参加者が関わっている困難事例等について、小グループに分かれて検討する。

(事例検討の進め方についての詳細は、今後検討予定)

〈グループワーク〉

- 3グループに分かれ、以下のテーマについて年度内の取り組み内容を決め、活動目標を立てる。

テーマ	取り組み例
普及啓発グループA (病院・事業所等の専門職対象)	<ul style="list-style-type: none">・関係機関向けの全体研修会の企画・体制検討会参加者向け研修会の企画・院内研修会の企画・事業所向け研修会の企画
普及啓発グループB (地域住民・当事者等対象)	<ul style="list-style-type: none">・地域住民向けの普及啓発研修会の企画・地域住民と協力した交流会等の企画・当事者への制度説明・民生委員向けの研修会の企画
ピアサポート活用グループ	<ul style="list-style-type: none">・ピアサポートの普及啓発について検討・ピアサポーターの立ち位置の理解について検討・ピアサポーターとの交流の場の検討

「高齢入院患者地域支援事業」実施病院(7病院)による意見交換を行うグループも並行して定期的実施(3ヶ月に1回程度)。対象ケースの支援経過や各病院における取り組み、抱えている課題について意見交換を行い、まとめて報告する。

平成25年度 精神障がい者地域移行支援部会(障がい者自立生活体制検討会) 年間計画

日程	検討内容		備考
	全体検討	グループワーク	
5/15	・事業説明 ・自立支援協議会について説明	・今後の取り組みについて意見交換	※自立支援協議会(5/17)
6/12	・事業・制度説明 ・自立支援協議会「地域移行支援部会」としての位置付けについて説明	・今後の取り組みについて意見交換	
7/10	・ピアサポートの活用について (ピアサポーターとの意見交換)	・今年度のテーマ・グループについて	※ピアサポート講座開催 (7/29～8/19 4回)
8/21	・研修会「精神障がい者の地域生活支援」 こころの健康センター 井形所長	・3グループで検討 ・高齢入院患者地域支援事業意見交換	※自立支援協議会(8/23)
9/11	・研修会「退院支援の実践報告」 地域体制整備アドバイザーより報告	・3グループで検討	普及啓発検討会(9/26) (アウトリーチ支援について)
10/9	・事例検討(困難事例等)又は実践検討	・3グループで検討 ・高齢入院患者地域支援事業意見交換	地域移行支援協議会 (地域精神保健福祉連絡協議会と兼ねて開催予定)
11/13		・3グループで検討	※自立支援協議会(11/15)
12/11		・3グループで検討	
H26 1/8	↓	・3グループで検討 ・高齢入院患者地域支援事業意見交換	
2/12	・地域移行支援協議会(予定)		※自立支援協議会(2/21)
3/12	・今年度のまとめ ・次年度計画		

〈グループワークのテーマ〉
 ①普及啓発グループA(病院・事業所等の専門職対象)
 ②普及啓発グループB(地域住民・当事者対象)
 ③ピアサポート活用グループ
 ※「高齢入院患者地域支援事業」実施病院による意見交換を
 並行して実施(8月、10月、1月は4グループに分かれる)